



西 関 西 同 窓 会

編集・発行／济々畿関西地区同窓会
事務局／大阪市淀川区西中島3-12-15 第5新大阪ビル502 ㈱ラフ関西支社内
TEL 080-1414-8405 (岡本) FAX 06-6101-5572
メールアドレス seiseiko.kansai@yahoo.co.jp
http://www.seiseiko-kansai.com /題字揮毫 高見 廣流 (高見 広宣・S57年卒)



「創立130周年を迎えて」

济々畿関西地区同窓会 会長 北野伸也 (S32年卒)

济々畿は今年、創立130周年という節目を迎え、同窓会の活性化のスタートの年と位置づけ、考えてみたいと思います。

遡りますが「济々畿百年史」のまえがきに編集委員長の本田不二朗先生は「学校の良否は、その学校の卒業生が、母畿に対して限らない、誇りと愛着をもち、伝統を忠実に継承して、国家社会に積極的に貢献しているかどうかにかかっていると言わねばならない。その点济々畿は現在もなお健在であり、百年の歴史の年輪はまさに、济々畿発展の金字塔であるといっても過言ではあるまい」と述べられています。

「百年史」から30年経過した今日、歴史の年輪はどんなものになるのか考えさせられます。

私は昭和38年、北海道から大阪勤務に。当時、同窓会があることも知らず、後日、事務局長を訪ねたところ、幹事の役を依頼され、同窓会に関わるきっかけになりました。非常に厳しい幹事長、事務局長でしたが、ご指導を頂き今日の私があります。

振り返れば、創立100周年の翌年、事務局長から、若者を対象とした組織の活性化を図る為に、総会準備チームの結成の依頼を受け、40代の私以下20代から30代の10名でチームを組織し活

動を開始しました。当時を思い起こせば、活発なチームの活動により、徐々に若者の会員、総会出席者が増加し、若さと活気に満ちていたと記憶しています。この年から総会に学生参加がスタートしました。又50歳以上の先輩も厳しかったですが、和気藹々としていました。

近年の状況を見ますと、少子高齢化、個人情報保護法の施行もあり、济々畿の歴史を背負って立つべき50歳未満の若者の会員数、出席者が非常に少なくなっています。

冒頭にありますように、母畿に対して限らない、誇りと愛着を持ち、伝統を忠実に継承する為には、同窓生相互の幅広い絆が必要だと考えます。

130周年を契機として、関西地区同窓会としては、記念誌の発刊を始め、総会&記念講演会や名簿の発刊等の諸策を企画しています。会員の皆さんの積極的な参画により太い年輪が刻まれることを念願しております。



济々畿創立130周年記念

姜尚中講演会 開催決定!!

平成24年度総会は、130周年記念事業として、同窓生で政治学者として活躍中の姜尚中・東京大学大学院教授を招き下記の内容で開催します。

記

○開催日時 平成24年10月20日(土)11時～

○会場 ホテルニューオータニ大阪(奥様など同伴参加も可)

*詳細は济々畿関西地区同窓会ホームページで紹介します。